平成１９年度　事 業 計 画 書

社団法人　日本アイソトープ協会

平成 20 年 12 月までに施行される公益法人制度改革関連法に適切に対応すべく、平成 18 年 11 月に設置された「公益法人制度改革対応専門家会議」からの答申をまって、事業及び運営のあり方について見直しを行う。同時に、アイソトープ利用が減少傾向にあること、ＲＩ廃棄物処分費用の拠出あるいは積立が法制度に取り入れられる可能性が生じたことを受け、事業収支について見直しを行う。

調査研究事業においては、図書、視聴覚教材などの発行、安全取扱に資する研修の実施、各部会による調査研究活動を通してアイソトープ・放射線の安全管理を推進すると同時に利用促進の活性化の寄与に努める。

アイソトープ頒布事業においては、表示付認証機器の販売を開始し、安全かつ安定供給体制を維持する。放射性医薬品については、ＰＥＴ核医学や内用療法を中心に核医学診療の普及に努め、放射性医薬品の利用に係る基盤拡大を図る。ＲＩ研究施設の立地については、将来計画の中で、アイソトープ利用の変化に対応できる事業内容及び施設・設備を見直す等具体的検討を進める。

環境整備事業においては、事業収支の改善を図るため、ＲＩ廃棄物料金の見直しを行うとともに、環境整備事業全体の経営改善にも努める。経営改善の方策の一つとして、ＲＩ廃棄物の貯蔵能力の確保に努めるとともに、ＲＩ廃棄物処理施設立地の具体的方策を検討する。処分については、実施主体となる独立行政法人日本原子力研究開発機構に協力し、処分事業の具体化に向けた活動に参画する。

Ⅰ　会員に関する事項

会員の拡大に努め、組織の充実強化を図る。

Ⅱ　総会に関する事項

第 54 回通常総会を開催し、次の議題等について審議する。

(1)　平成 18 年度事業報告書並びに決算書承認の件

(2)　平成 19 年度事業計画書並びに予算書承認の件

Ⅲ　役員会に関する事項

１．第 138 回理事会

第 138 回理事会を開催し、次の議題等について審議する。

(1)　平成 18 年度事業報告書（案）並びに決算書の件

２．第 139 回理事会

第 139 回理事会を開催し、次の議題等について審議する。

(1) 平成 20 年度事業計画書（案）並びに予算書（案）の件

(2) 次期役員候補者推薦の件

(3) 特別会員の推薦の件

３．常任役員会

常任役員会を開催し、理事会決議事項の執行に関して、適正かつ円滑な事業運営を図る。

４．顧問会及び幹事会

顧問会及び幹事会を開催し、事業の進捗状況について報告するとともに、意見交換を行う。

Ⅳ　公益法人制度改革対応に関する事項

「公益法人制度改革対応専門家会議」からの提言を受けて、①協会事業の公益性　②新制度下の望ましい事業運営体制　について見直しを行う。

Ⅴ　調査研究事業

１．部会活動

(1) 理工学部会

① 理工学分野における利用促進

理工学分野におけるＲＩ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。アイソトープ・放射線の利用促進を図るための新専門委員会の設置を検討する。（常任委員会）

②「放射線防護用設備・機器ガイド 2008/09 年版」の発行

放射線施設における放射線防護用設備・機器の適切な使用に資するため、「放射線防護用設備・機器ガイド 2008/09 年版」発行の準備を進める。

（放射線防護機器専門委員会）

③ 超低レベル放射能測定技術の調査・検討

通常の放射線計測技術では測定が困難なあるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望をさぐるための調査・検討を引き続き行う。

（超低レベル放射能測定専門委員会）

④ 中性子イメージングに関する調査・検討

中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。また、中性子ラジオグラフィの基礎から最新技術までをまとめ、RADIOISOTOPES 誌に連載講座「中性子イメージング技術の基礎と応用」を掲載する準備を進める。

（中性子イメージング専門委員会）

⑤ 講演会、見学会等の開催

Ｒ＆Ｉ講演会・見学会、サマースクール等を開催する。

⑥ アイソトープ・放射線実験の調査・検討

アイソトープ・放射線の教育・啓発のために、小・中・高の生徒や一般人を対象として行われているアイソトープ・放射線に関するいろいろな教育的実験を調査・検討し、Isotope News 誌に「RI・放射線一般向け教育実験ノート」として掲載する。

（一般向け教育実験ワーキンググループ）

(2) ライフサイエンス部会

① ライフサイエンス分野における利用促進

ライフサイエンス分野におけるＲＩ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。（常任委員会）

② 部会活動活性化の推進

部会活動の見直しと活性化を図るための企画、立案を行う。（企画専門委員会）

③ ＲＩトレーサ研究用機器に関する検討

ＲＩをトレーサとして用いる研究用機器について、その原理、性能、特徴、適切な用途等の最新情報を収集し、公表する。

（アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会）

④ 安定同位元素の利用の検討

安定同位元素の利用技術について調査研究する。（安定同位元素専門委員会）

⑤ 薬学･薬理学分野のＲＩ利用の検討

薬学･薬理学研究分野におけるＲＩ･放射線の利用を促進するための検討を行う。

（薬学・薬理学研究専門委員会）

⑥ 獣医療における核医学利用の調査･検討

獣医核医学および獣医放射線学教育の現状について調査し、日本における獣医核医学の推進について調査・研究する。（獣医核医学専門委員会）

⑦ 食品照射についての調査･検討

食品照射に関する内外の情報を収集し､調査･研究する。

（食品照射専門委員会）

⑧ 講演会の開催

アイソトープ利用講演会、見学会等を開催する。

(3) 医学・薬学部会

① 医学・薬学分野における利用促進

医学・薬学分野におけるＲＩ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。（常任委員会）

② 部会活動活性化の推進

部会活動の見直しと活性化を図るための企画、立案を行う。（企画専門委員会）

③ 放射性医薬品の利用促進

放射性医薬品の利用促進と施設内の安全取扱に関し、調査研究する。

（放射性医薬品専門委員会）

④ 副作用事例調査の実施

放射性医薬品の安全性確保に資するため、アンケートにより「第 32 回副作用事例アンケート調査」を実施し、結果を公表する。

（放射性医薬品安全性専門委員会）

⑤ 核医学イメージングの規格化及び核医学検査技術向上等に関する検討

核医学イメージング及び核医学検査技術の向上に資するため調査研究する。

「第8回核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査」（3年に1回）を実施し、結果を公表する。（核医学イメージング・検査技術専門委員会）

⑥ イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイの実施

イムノアッセイ検査の精度管理の向上に資するため、「第 29 回イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」を実施し、結果を公表する。

（インビトロテスト専門委員会）

⑦ ポジトロン放出超短半減期ＲＩの臨床利用の促進

ポジトロン放出超短半減期ＲＩの臨床利用を促進するための検討を行う。

（ポジトロン核医学利用専門委員会）

⑧ 医療放射線管理に関する検討

医療放射線管理上の諸問題について調査研究する。

（医療放射線管理専門委員会）

⑨ 放射線治療技術及び安全管理に関する検討

密封線源等による放射線治療技術及び安全管理について検討する。

（放射線治療専門委員会）

⑩ 放射性医薬品の臨床評価に関する検討

放射性医薬品の開発を推進するため、放射性医薬品の臨床評価のためのガイドライン作成に向けた検討を行う。（放射性医薬品の臨床評価専門委員会）

⑪ 全国核医学診療実態調査の実施

わが国における核医学診療の現状を把握するため、「第 6 回全国核医学診療実態調査」（5 年に 1 回）を実施する。（全国核医学診療実態調査専門委員会）

⑫ アイソトープ内用療法にかかるガイドライン等の策定

アイソトープの内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

（アイソトープ内用療法専門委員会）

⑬ 講習会の開催

「高線量率ラルス医療安全取扱講習会」等の講習会を開催する。

(4) 放射線取扱主任者部会

① 部会運営と支部間連絡調整

第 48 回部会総会を開催する。活動報告・活動計画の策定等を行い、部会委員会の運営・支部間の連絡調整を図る。（本部運営委員会）

② 部会総会等の企画並びに組織規定の整備

部会総会、研修会について企画する。

協会の開催する放射線取扱主任者定期講習の開催運営に協力する。

部会活動をより円滑に行うため、運営諸規定の整備を図る。（企画委員会）

③ 情報の収集と広報

Isotope News「主任者コーナー」を充実させる。

部会員相互の交流を図るための広報活動を行う。（広報委員会）

④ 法令の課題の検討

改正法令について、主任者の立場から諸問題を検討する。　（法令検討委員会）

⑤ 職種別・専門分野別分科会の設置・推進

職種別・専門分野別分科会および研究会の設置・推進を図る。

⑥ 主任者試験問題の解答例作成

主任者試験問題の解答例をまとめ、Isotope News「主任者コーナー」に掲載する。

（試験問題解答例作成委員会）

⑦ 各支部において研修会、勉強会、法定の教育訓練講習会等を開催する。

⑧ ＲＩ事業所等からの依頼に基づき法定の教育訓練の講師を派遣する。

２．研究発表会の開催

第 44 回アイソトープ・放射線研究発表会を開催する。

（アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会）

３．講習会の開催

(1) 下記の講習会を開催する

① 第 1 種放射線取扱主任者講習［文部科学省登録資格講習］

② 第 3 種放射線取扱主任者講習［文部科学省登録資格講習］

③ 放射線取扱主任者定期講習［文部科学省登録定期講習］

④ 第 1 種作業環境測定士（放射性物質）講習［厚生労働省登録講習］

⑤ アイソトープ基礎技術入門講習会

⑥ ラジオアイソトープ安全取扱講習会

⑦ 密封線源安全取扱講習会

⑧ 第 1 種主任者育成講習会

⑨ 第 2 種主任者育成講習会

(2) 第2種放射線取扱主任者講習[文部科学省登録資格講習]の実施について検討を進める。

（講習会企画委員会）

４．図書等の編集、発行、頒布等

(1) 機関誌

① Isotope News　（広報誌）　（Isotope News 編集委員会）

② RADIOISOTOPES　（学術誌）　（RADIOISOTOPES 編集委員会）

(2) 出版物

(ｲ) ＲＩの利用及び放射線防護に資する各種の参考図書、視聴覚教材等

① アイソトープ法令集（Ⅱ）医療放射線防護関係法令集（2007 年版）

② 放射線取扱主任者試験問題と解答例

③ [ビデオ] 見て納得　放射線障害防止法入門（英語版)、他

(ﾛ) ＩＣＲＰ勧告の翻訳図書　（ICRP 勧告翻訳検討委員会）

① ICRP Publ.97 高線量率近接照射治療事故の予防（仮題）

② ICRP Publ.98 永久刺入線源を用いる前立腺がん近接照射治療の放射線的安全の側面（仮題)、他

（出版企画委員会）

５．普及啓発活動

① RADIOISOTOPES 誌論文奨励賞表彰を実施する。

６． 試験研究所等

(1) 甲賀研究所

① 医療機器の放射線滅菌における線量設定に伴う微生物試験や検定照射を行う。

② 放射線照射利用に関する調査研究、微生物試験に関する研修活動及び普及活動を行う。(放射線滅菌セミナー、学会発表等)

③ わが国における、ウイルスの放射線抵抗性についての基礎研究や技術開発を、照射の立場から支援してゆく。

④ 放射線による材質変化に関する情報収集並びに試験研究を行い、ユーザーに提供する。

⑤ 医療機器、生薬、包装材料等の放射線滅菌及び高分子化合物の処理・加工等に関する照射の受託を行う。

⑥ 将来の照射需要が見込める分野、たとえば食品照射検知法について現状調査、情報収集を行うなど、新規分野を開拓する。

(2) 仁科記念サイクロトロンセンター

① ポジトロン核医学及びＰＩＸＥ分析に関する全国共同利用を行う。

② ＰＩＸＥ分析の研究開発を行う。

③ リニューアルした設備及び機器を共同利用に供して、共同研究の継続と研究活動の充実を図る。

(3) 武見記念館

① ＲＩの利用及び核医学等に関する展示の一般公開を行う。

② 施設公開、施設見学の受入れにより協会事業の啓発を行う。

Ⅵ　ＲＩ頒布事業

1．ＲＩ

(1) ＲＩの頒布

国内で利用される標識化合物、精製ＲＩ及び線源を頒布する。製品の受注に際して使用者の法的要件を確認するなど、適正な利用を推進する。使用者の要求に応じて各種線源を製作する。また、使用者、製造業者等から利用に係る情報収集に努め、適切な利用の促進及び安定供給を図る。

使用者の利便性、受注体制の合理化を図るため，標識化合物，精製ＲＩのインターネットによる受注システムの利用を推進する。

使用者から使用済み密封線源を回収し、保管又は海外の線源製作者へ返却する。

(2) ＲＩの安全取扱・利用技術の向上及び普及

ＲＩ利用、取扱に関する相談に応じ、ＲＩの安全取扱・利用技術の向上及び普及に資する。

計量法認定事業に基づく放射線量及び放射能標準の供給の他，放射線に係る各種校正・測定サービスを実施する。

輸送の安全性確保に資するため、ＲＩ輸送実務関係者を対象とした実務に則した教育訓練講習会及び輸送連絡会を開催する。

警察、消防等の関係者を対象に、ＲＩに関する知識の向上のための教育訓練に協力する。

ＲＩの流通状況を「アイソトープ等流通統計」としてとりまとめ、関係者に配布する。

(3) 安全性の向上とＲＩ施設の維持管理

関係省庁に協力し、国内の放射線安全に寄与すると共に、国際情勢を考慮して、放射線源のセキュリティ対策を推進する。

現有ＲＩ施設・設備を適切に維持・管理するとともに、新ＲＩ施設建設計画に係る検討を行う。

２．放射性医薬品

(1) 放射性医薬品の頒布

全国の医療機関に対して放射性医薬品の安定供給に努める。受注に際しては使用者の法的要件を確認するなど、適正な利用を図る。

使用者の利便性を高めるために開発されたインターネットによる受注システム（RIOS-Net）の再構築を行い、セキュリティの高い Web システムとしてより適正に運用することを図る。

(2) 利用の促進

関係学会等への協力を通じて、核医学診療の普及に努め、放射性医薬品の利用に係る基盤拡大を図る。

① 核医学普及のための講習会等の開催
② アイソトープ内用療法に係るガイドライン等の作成
③ 医療放射線管理の実践マニュアルの改訂
④ 臨床 PET 推進会議および PET サマーセミナーの運営サポート
⑤ 獣医核医学の実施のための獣医療法施行規則改正に伴うガイドラインの作成

(3) 情報提供等

下記資料等による情報提供、法律相談を通じて使用者の便宜を図るとともに、医療放射線の安全及び適正利用を推進する。

① 医療ＲＩ通信
② 放射性医薬品流通統計
③ 放射性医薬品一覧表（診療報酬点数、薬価基準の情報を含む）
④ RIOS-Net 利用者のための放射性医薬品管理システム
⑤ 電子メールまたはファックスによる緊急時一斉連絡体制
⑥ 放射性医薬品の輸送に係る教育・訓練の実施
⑦ 協会ホームページへの医療関連情報、資料の提供

Ⅶ 環境整備事業

１．ＲＩ廃棄物の集荷

ＲＩ使用施設等から発生するＲＩ廃棄物の集荷を実施する。

２．ＲＩ廃棄物の処理

集荷し、貯蔵したＲＩ廃棄物は、医療ＲＩ廃棄物を滝沢研究所で処理する等、適切に処理する。

３．貯蔵施設の整備

ＲＩ廃棄物の貯蔵能力を確保するとともに、貯蔵施設の合理的な運用を図る。

４．茅記念滝沢研究所設立 20 周年記念式典

設立 20 周年にあたり記念式典を開催する。

５．処分の推進

処分実施主体となる独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、情報提供を行う等、処分事業の推進に協力する。

Ⅷ　ＲＩ施設の立地

本部ＲＩ研究施設の移転計画については、アイソトープ利用の変化に対応できる施設・設備の設計及び用地取得等の検討を進める。

また、ＲＩ廃棄物の貯蔵施設及び処理施設の整備については、引き続き用地の取得等、計画の具体化を進める。